

マンホールポンプ監視システム保守管理業務委託 特記仕様書

(目的)

第1条 マンホールポンプ遠隔監視システムにおける監視装置等が正常に稼動する状態を保つため、保守点検を実施する。

(対象施設)

第2条 保守点検の対象施設は、別紙機場箇所一覧表のとおりとする。

(提出書類)

第3条 受注者は、マンホールポンプ施設維持管理業務委託共通仕様書に定めるほか、業務完了時に次の書類を提出すること。

(1) 各機場の年報帳票

(業務範囲)

第4条 本業務の対象は、マンホールポンプ監視システムのうちデータセンター内サーバーのハードウェア及びソフトウェアとする。各ポンプ場側に設置された子機、あるいはサーバーより情報を受け取るための機器類の保守業務は本契約には含まれない。

(業務内容)

第5条 監視すべき施設に設置された発信機より、故障、異常等の信号がサーバーに送られた際、通信情報を受け取り、あらかじめ設定されたアドレスへ警報メールを自動送信すること。

2 インターネット経由で各機場について、情報を提供すること。

(1) 地図表示（各機場の位置及び異常の有無の表示）

(2) 機場管理（警報表示、施設台帳、モニタリング画面、トレンドグラフ）

(3) 履歴管理（各機場の異常履歴）

(4) 帳票（日報、月報）

(5) 施設の現在状況（対象施設の設定により、水位、運転電流など）に関する情報

3 監視すべき施設とサーバー間で発生するデータ通信料は本契約に含まれる。

4 システムの整備等によって、監視システムの一時的な停止が計画される場合には、監督員に事前報告を行うこと。

5 不具合による監視システムの機能停止、誤動作等が発生した場合、直ちに市監督員へ報告すると共に、原因の調査及び対処を行ないその結果を報告すること。